

《農業委員会事務局 令和2年度予算見積方針》

部内マネジメント責任者

事務局長 田中好紀

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

- ・農地を守り、農業と地域を支えるために農地法等関係法令に基づいて、農業委員ならびに農地利用最適化推進委員の活動を補佐し、農地の取得や権利の保護、農業上の効率的な利用を図るための調整を行います。
- ・所有者や耕作者の地位の安定と農業生産力の増進を図るために、許認可業務や農地利用の最適化推進を適正に行います。

【重点事項】

- ・農業委員ならびに農地利用最適化推進委員の業務を適正に行っていただくために、研修や図書提供などにより、資質の向上に努めます。
- ・統合型(庁内向け)GISを活用することにより、機能の向上と経費の削減を図ります。
- ・適正な窓口対応や相談業務、申請の指導などのため、職員の研修参加や図書購入を実施します。

【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

【見 積】令和2年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和2年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	19,511	19,289	○農地行政の適正な執行機関として、行政へ意見書の提出を行い、農地法に基づく許認可と地域農業の構造改革ならびに農地利用の最適化の推進を図るための経費を見積もりました。 ○事務費として当事務局に充当されていた県支出金を職員課予算の職員設置費に付け替えます。 ○3年に1度の農業委員選任に係る委員改選費用を計上しました。 ○職員課予算で計上していた臨時職員の職員費を当事務局の予算に付け替えます。
合 計	19,511	19,289	

【前年度】令和元年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	15,956	15,135	
合 計	15,956	15,135	

【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	3,555	4,154	・R1年度まで県支出金の一部が事務費として当該事業費に充当されていたが、R2年度からは全額を職員設置費(職員課予算)に充当するため、当該事業費の一般財源としては増額しているが、市全体の予算として見ると実質的な増減はない。 ・3年に1度の農業委員選任に係る委員改選費用を計上したことによる増額。 ・R1年度は職員課予算で計上していた臨時職員の職員費を当事務局の予算に付け替えることによる増額。R2年度から制度が始まる会計年度任用職員(パート)を雇用することによる増額。
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	3,555	4,154	

